

65年の歴史に幕……

地域の方から親しまれ続けた磯分内中学校

昭和22年に開校して65年間にわたり地域の教育を支えてきた磯分内中学校。2,282人もの卒業生を輩出し、子どもたちの成長を見守ってきた学び舎が、長い歴史に幕を下ろしました。在校生は磯分内中学校で学んだことを胸に刻んで4月から標茶中学校に通学し、新たな一歩を踏み出しています。



磯分内中学校の歴史 ～ Photo Memory ～





磯分内中学校の沿革

- 昭和22年 5月 標茶村立磯分内中学校として認可
- 7月 上御卒別に分校を設置
- 25年11月 標茶町立磯分内中学校となる
- 26年 5月 標茶高校磯分内分校（定時制）併設
- 27年 4月 上御卒別分校独立する
- 31年 2月 粉ミルク給食開始
- 33年 3月 標茶高校磯分内分校閉校
- 46年 2月 新校舎・体育館落成式
- 52年10月 開校30周年記念式典
- 平成 8年 9月 インターネット用パソコンの設置
- 10月 開校50周年記念式典・祝賀会
- 20年 3月 開校60周年記念「あゆみ」発行
- 21年 4月 1・2年複式学級となる
- 24年 3月 閉校式・惜しむ会

（記念誌から抜粋）

校旗



校章



柏の葉を三方に、熊牛原野の大地をおおつ熊笹を配している。

学校教育目標

一 強い学力のある生徒
二 話し合える生徒
三 うるおいのある生徒
四 けじめのある生徒
五 強じんな体をもつ生徒

校歌

作詞 作曲 中野 一雄

一 阿寒の嶺を 雲井に望み
鈴蘭香る 熊牛の野に
厳しく聳えたつ 我等が母校
見よ見よ磯中 自由の学舎

二 愛の真心 正義の心
朝な夕なに いそしみて
郷土に誇たり 我等が母校
見よ見よ磯中 自由の学舎

三 星経る幾度 伝統受けて
東西文化の 粹美をこらし
栄え輝く 我等が母校
見よ見よ磯中 自由の学舎

四 霊峰阿寒を 窓外に
若き希望を 力の限り
捧げて進まん 我等が母校
見よ見よ磯中 自由の学舎

